

オリオン通り (昭和55年)

オリオン通りの入り口付近の今昔。
旧写真の左から中央に見えるのが、昭和55年に完成した「スターロード」。
オリオン通り曲師町商業協同組合の有志が収集した歌手やスポーツ選手、俳優など有名人約100人の手形タイルが敷き詰められていました。また、中央のボードには、各有名人の写真とサインが展示されていました。この「スターロード」は、平成8年度に、市とイタリアのピエトラサンタ市との姉妹都市提携に伴って、「大理石の道」として生まれ変わりました。



ことがやりがいです」と自らの仕事に胸を張ります。
0.1ミクロン（1万分の1ミリ）のレベルまで追求する技術力を持つ西島さんですが、「技術

西島さんが働く会社の社長の林直昭さんは、ものづくりに関する国内最高表彰の「現代の名工」を史上最年少（40歳）で受賞しています。「自分もいつか現代の名工を受賞できるように技術を磨いていきたい」と、未来を見据える西島さん。その挑戦は続いています。

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

亜鉛めっき加工で日本一
0.1ミクロンを追求する職人の技術

宇都宮タマル工業 西島 弘尚さん

全国めっき技術コンクールの亜鉛めっき部門で、最優秀賞の厚生労働大臣賞を受賞した西島さん。今回が6回目のチャレンジでした。「今まで悔しい結果が続いていたので、うれしいです。あきらめずに挑戦し続けた結果だと思いません」と笑顔をのぞかせます。めっきは、日常生活から医療機器や自動車の部品まで、幅広く使われるなくてはならないものです。「皆さんの暮らしを支えている

だけでなく、理論や経験に裏付けされた勤も重要。大切なことは、自分がやることと決めたことはできるまでやり続けることだと思っています」と職人としての表情を見せます。

